

ボランティア情報誌 ほっと

第42号 2022年12月発行
登別市社会福祉協議会
登別市ボランティアセンター
登別市片倉町6丁目9番地1
TEL88-2080 / FAX88-4546



↑コロナ禍前に撮影した写真

点訳を通して、視力障がいがある方の暮らしに寄り添う

登別市点訳赤十字奉仕団では、視力障がいがある方へ、文字を点字に訳して情報を伝える「点訳」の活動を行っています。

主な活動としては、市役所や社協などから点訳依頼のあった刊行物などをパソコンで点訳し、専用の印刷機で点字印刷した物を視力障がいがある方々へ提供しています。

また、公共施設内の手すりなど、

手の触れる場所に点字を設置したり、中途失明者へ点字の読み書きを教える活動を通して障がいのある方の暮らしをサポートしています。

日頃点訳を利用されている方からは「耳や手を使って情報を得るので、点字は大切な情報手段です。長年に渡り、様々な情報を点訳していただき感謝しています。」と喜ばれています。

登別市点訳赤十字奉仕団 委員長 志賀征子さんのコメント



障がいがある人も様々な情報が得られ、普段の生活がより豊かになってほしいという想いで活動しています。点訳の活動を通して、障がいのある方の役に立てることが何よりの喜びです。団員と和気あいあい日々活動していますので、ぜひ私たちの活動にもご参加ください。

活動日 毎月第2・4水曜日10:00~12:00 しんた21 2階点字図書室

登別のボランティアを伝える情報誌

HP <https://kizuna-shakyo.jp/> mail info@kizuna-shakyo.jp



布の絵本や布の遊具を 貸出しています



布の絵本ボランティアの会では、不要になった布や服、ネクタイなどを使って子どもたちが喜ぶ布の絵本や遊具を製作しています。

しんた21内で貸出をしていますので、クリスマス・新年会などの季節行事やボランティア活動などで利用してみてもはいかがでしょうか。



貸出概要

貸出物品：布の絵本、布の遊具、パネルシアター、エプロンシアターなど
貸出期間：2週間 ※エプロンシアターのみ最大6カ月

ご利用の際は、ボランティアセンター（受付時間 平日9：00～17：30）までお問合せください。

海星高校 書き損じ・未使用ハガキ募集中

海星学院高等学校では、開発途上国への教育支援を目的に、書き損じハガキや未使用ハガキ（以下ハガキ）の寄付を呼びかける世界寺子屋運動を毎年行っています。

寄付されたハガキは募金に換わり、日本ユネスコ協会連盟を通じて開発途上国に寄付されます。1枚でも多くのハガキが集まり、子ども達の生活向上や教育環境の改善に繋がるよう皆様のご協力をお願いします。

ハガキについては、海星学院高等学校（受付時間 平日9：00～16：00）にお持ちいただくか、しんた21内1階アトリウムに設置している収集ボックスに投函ください。



募集期間

2022年11月7日～2023年2月28日

問合せ先

海星学院高等学校（室蘭市高砂町3-7-7）

☎0143-46-8888 担当：市川 栄作

